

20 はげましをありがとう

震災の後、日本中、世界中からたくさんのはげましをいただきました。それはどのようなものだったのでしょうか。

○ 日本中から

石巻には、全国からたくさん品物やお手紙がとどけられました。それらには「がんばれ石巻」というねがいがこめられていました。学校や避難所では、はじめのころ、きゅう食や食事でもまっていました。きゅう食は、パンと牛にゆうだけだったので、サラダやジュースなどをとどけてくれただん体もありました。また、避難所では、ボランティアの人たちが、たき出しであたたかい食事を作ってくれました。



しえんしてくださった方からの手紙

遠くの町に住む、まだ見ぬまごにプレゼントするかのよ
うな気持ちで、一はり一はり心をこめてぬい上げまし
た。喜んで使ってもらえるかしら…。10年ぶりでミシンを
出したのでうまくぬえなかったけれど、これを持って日々
せいちょうしていくのね…など、できあがった運動着ぶく
ろを見て目を細めています。生かされた命を
大切に、今までの苦ろうの分、さち多き人生に
なりますことを遠くの町からおいのりいたし
ております。 (とち木県・女せい)

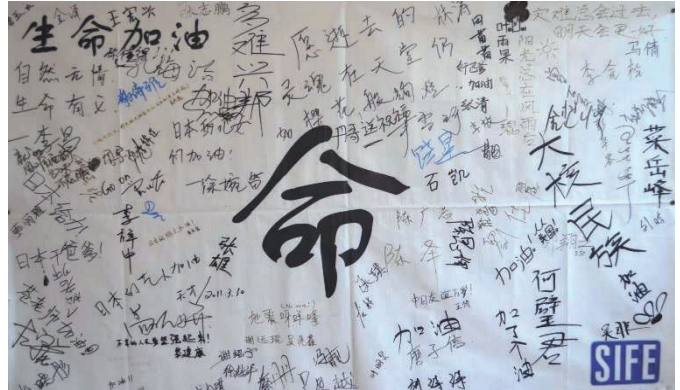


○ 世界中から

日本から遠くはなれた外国からもたくさんのメッセージや絵、千羽づるなどがとどけられました。書いてある言葉は分からなくても、これらのおうえんメッセージや絵は、わたしたちを元気づけてくれました。



スロバキアの大とうりょうとメッセージ



中国からのメッセージ

遠い外国から、いろいろな物がわたしの学校に送られてきました。先生が見せてくれたお手紙には、外国のことが書かれてありました。それから外国のたて物やけしきの絵も書いてありました。それから、いっしょに送られてきた写真には、外国の小学生がえ顔で写っていました。

「遠い国からわたしたちのことをおうえんしてくれているんだよ。」と先生が教えてくれました。お手紙と写真を見て、わたしはなんだかうれしくなりました。

(小学校2年女子)



ふりかえり